

〔I〕

第2段落

【解答】

犬の睡眠時間は個体差が大きい。野生時代は夜型だったが、現代の飼い犬は共生する人間の生活リズムに合わせて睡眠パターンを調整している。(65字)

【解説】

第2段落では犬の総睡眠時間が様々な要因によって変わることと、先祖は夜型だったが現代の飼い犬は共生する人間の生活リズムに合わせて睡眠パターンを調整していることが述べられている。以上2点をまとめればよい。

第3段落

【解答】

犬は人間同様の睡眠段階を持ち、レム睡眠は人間より長い、狼よりは短い。これは家畜化が深い睡眠サイクルに影響を与えた可能性を示唆している。(68字)

【解説】

第3段落では、犬にも人間同様の睡眠サイクルがあることと、そのサイクルの具体的な内容が書かれ、レム睡眠の時間が“人間<犬<狼”の関係であることが書かれている。また最終文ではその事実を踏まえ、新たな疑問が生じていることが書かれている。①犬が人間と同じ睡眠サイクルを持つこと、②人間と犬と狼のレム睡眠の時間の比較、③新たな疑問の内容の3点をまとめると良い。

第4段落

【解答】

犬は生存戦略としてレム睡眠の後に短時間目を覚ます。この能力のおかげで、人間よりはるかに簡単に睡眠サイクルの変化に適応できる。(62字)

【解説】

第4段落では、犬がレム睡眠後に短時間目覚める傾向があること、それにより人間よりもはるかに簡単にルーティーンの変化に適応できることが書かれている。麻薬探知犬などの使役犬の例から、この「ルーティーン」は具体的には「睡眠スケジュール」のことだとわかる。

第5段落

【解答】

ストレスの多い状況を経験した犬はレム睡眠時間が長くなる。これは、犬が人間と同様に、睡眠を利用して感情やストレスを処理していることを示唆する。(70字)

【解説】

ストレスの多い状況を経験するとその後のレム睡眠の時間が長くなること、それが示唆する結論（最終文）をまとめれば良い。

第6段落

【解答】

睡眠パターンが人間と似ており、犬は睡眠障害の研究モデルとなっている。今後は老犬の睡眠変化を調査し、高齢者の認知機能低下への知見を得る狙いだ。(70字)

【解説】

第6段落では、犬が睡眠障害の研究モデルとして活用されていること、その理由が人間との類似性にあることを述べ、最終文で今後の研究の狙いを述べている。これらを字数制限に気を付けてまとめれば良い。段落内の文章量が比較的少ないため、それほど難易度は高くないと言って良いだろう。

〔Ⅱ〕

問1

【解答】

(3)

【解説】

(3)以外の単語はすべて「破壊された」類の意味。(3) exposed は「むき出しになった」という意味で、ほかの単語と意味が異なる。

問2

【解答】

(A) (ウ) (B) (エ) (C) (ア) (D) (オ) (E) (イ)

【解説】

(A)博物館の外観は依然として残っている一方、内部は痛烈な状況を物語っている。

→ (ウ) while (2文をつなぐことができる接続詞で、対比の意味がある語)

(B)しかしながら、破壊は国立博物館だけではなかった。

→ (エ) however (空欄(B)を含む文までは、国立博物館の被害状況が記されているが、空欄(B)を含む文は、戦争の被害はその他の文化施設にも及ぶことを示している。)

(C)ザイン・アル＝アブディーンによれば、

→ (ア) according to (情報源を示すときに使う表現)

(D)「それは、文明、人々、教育、健康、さらには空港から橋、人々の家に至るまでのインフラなど、あらゆるものに影響を与えた。要するに、それはスーダン全土の組織的な破壊だった。」

→ (オ) in brief (具体例をまとめる働きがある語句)

(E)悲惨な状況にもかかわらず、かすかな希望がある。

→ (イ) despite (逆説の意味を持ち、あとに名詞を取る前置詞)

問3

【解答】

secured chamber

【解説】

strong room は「金庫室」のこと。資料2第6段落の secured chamber は「厳重に守られた部屋」のことで、いづれも盗まれた遺物が収められていた部屋を示す。

問4

【解答】

農業の発展以前の旧石器時代から、古代スーダンの王国時代、スーダンのファラオが古代エジプトの広範囲を統治したナパタ時代、ピラミッドが建設されたメロエ王国時代、さらにはその後のキリスト教やイスラム教の時代に至るまでの数千年にわたる歴史。(116字)

【解説】

下線部②は「数千年の国の歴史」という意味で、スーダンの歴史を資料1に基づいて具体的に時代名も挙げながら説明すれば良い。資料1第4段落に具体的な時代名や、その時代の内容が記されており、これを時系列順にまとめれば解答が出来上がる。

問5

【解答】

ライオンの石像, ファラオ様式の像, ファラオ様式の神殿。(27字)

【解説】

持ち去られなかった遺物の具体例は資料1の第5段落の第2文と第3文に書かれている。これらをすべて列挙すれば良い。

問6 問(1)

【解答】

(a) エジプト (b) 20,000 (c) 14,000,000 (d) 3

【解説】

(a) 資料1第5段落 Also remaining are three pharaonic temples that were moved from northern Sudan and reassembled at the museum in the 1960s to escape the rising waters of Lake Nasser from Egypt's construction of the High Dam. よりエジプト。

(b) (c) 資料2第8段落に Since then, more than 20,000 people have died, over 14 million displaced とある。

(d) 資料1は2025年4月に公開されており、資料1第3段落に Since the Sudanese military regained control of the capital last month とある。スーダン軍が首都(ハルツーム)を奪還したのは、資料1が公開された2025年4月の前月=3月ということになる。

問6 問(2)

【解答】

[2]

【解説】

資料2第7段落 UNESCO, which had been supporting restoration efforts since 2019 より、ユネスコが復興支援を行ったのは2019年からなので、年表の[2]が正解。

問7

【解答】

(1)・(3)

【解説】

(2)については資料2第6段落に The RSF reportedly occupied parts of the National Museum for two years, using it as a base while systematically looting its collections.と言及がある。using it as a baseは「基地として使用していた」ことを示している。

(4)については資料1第6段落に He blamed the RSF for the destruction, saying they had fighters in the museum at some point during the war.と言及がある。they had fighters in the museum at some point during the warは「戦争中のある時期、RSFは博物館内に戦闘員を置いていた」という意味である。

以上より、資料1でも資料2でも言及がないのは(1)と(3)である。

{III}

I think creativity is becoming more important than ever. In the workplace, simple tasks are being automated due to the rise of AI. Therefore, human beings have to generate innovative ideas in order to avoid being replaced. In such an age, it is by creating new value that we can truly find joy in our work. Additionally, in our personal lives, routines often become monotonous as we get older. By using creativity to try new things or add fresh elements to our daily lives, we can enrich our lives. In conclusion, fostering creativity can transform both our work and personal lives into fulfilling and stimulating experiences. (106words)

{IV}

The graph illustrates the annual consumption of meat and seafood per person in Japan between 1989 and 2023. Initially, seafood consumption exceeded that of meat, reaching its peak in 2001. However, it then declined steadily, falling to approximately 21 kg in 2022. In contrast, meat consumption increased consistently, surpassing seafood around 2011 and reaching about 34 kg in 2023. One reason for this trend is the westernization of Japanese dietary habits. Many Japanese people have come to prefer meat-centered meals over fish. In addition, rising seafood prices and the convenience of processed meat products have further accelerated the shift away from traditional fish consumption. (104words)